

事務事業名	真岡市外国人児童生徒教育研究会運営交付金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成4年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費	2事務局費			
事業概要	外国人児童・生徒教育拠点校(真岡小・真岡東小・真岡西小・長田小・久下田小・真岡中・真岡東中・真岡西中)の担当者の連携及び資質の向上を目指した同会に対して、運営支援を行う。研究会2回、研修会2回、交流会1回の開催。交付金額84,000円						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 研究会から交付申請書（事業計画書）を提出させ、運営支援のための交付金を交付する。 2年度計画 昨年度と同様	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 交付金額	千円	84	84	84	84	84	
イ 研修会数	回	5	5	4	4	4	
ウ							
エ							
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 外国人児童生徒教育研究会	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 日本語教室担当者数	人	16	16	16	16	16	
イ							
ウ							
エ							
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 外国人児童・生徒が学校に慣れ、安定して学校生活が送れるような指導ができるようにするため、担当者の連携及び資質の向上につながる運営が行われるよう支援する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 日本語指導・適応指導ができる教師の数	人	16	16	16	16	16	
イ							
ウ							
エ							
オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 外国人児童・生徒が日本語を習得し、学校の授業が理解できるようにする。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 資質の向上と指導の充実が図られた教師の割合	%	100	100	100	100	100	
イ							
ウ							
エ							
オ							
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	84	84	84	84	
	事業費計(A)	千円	84	84	84	84	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	88	88	88	88	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	外国人の就学の増加による。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	外国人児童・生徒の数が増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	